

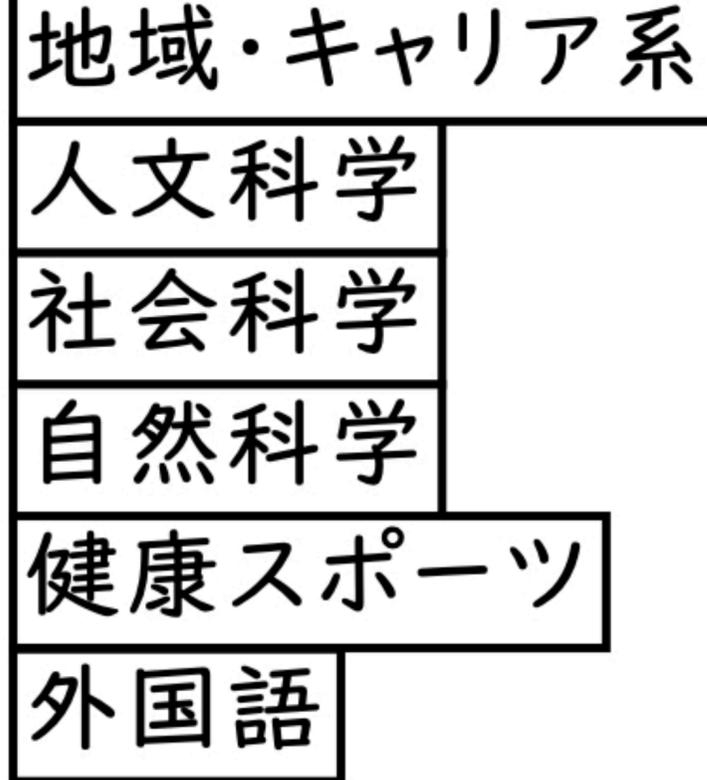
日本文学学科について

小畑 拓也

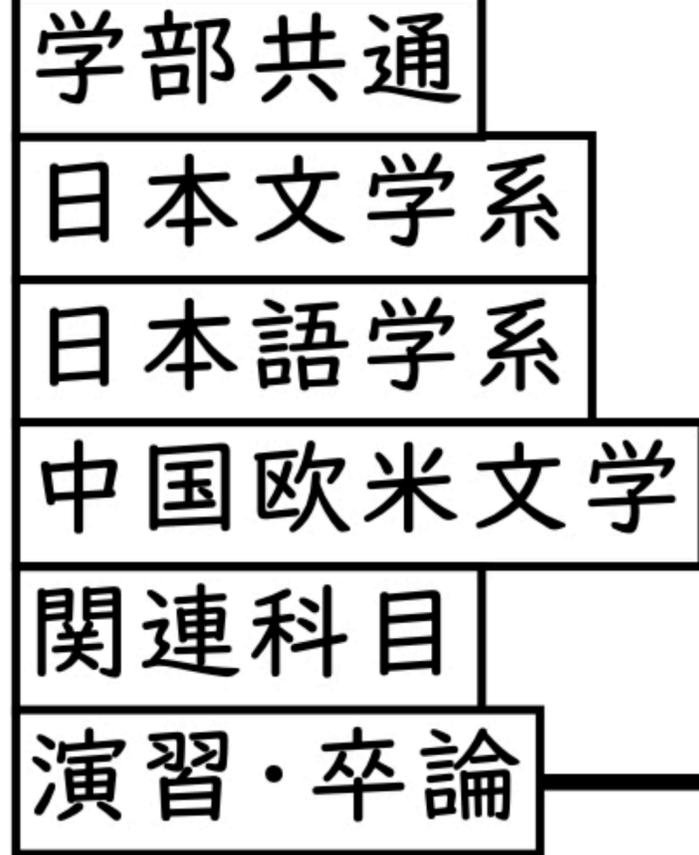
(日本文学学科 教授)

日本文学学科の学修内容

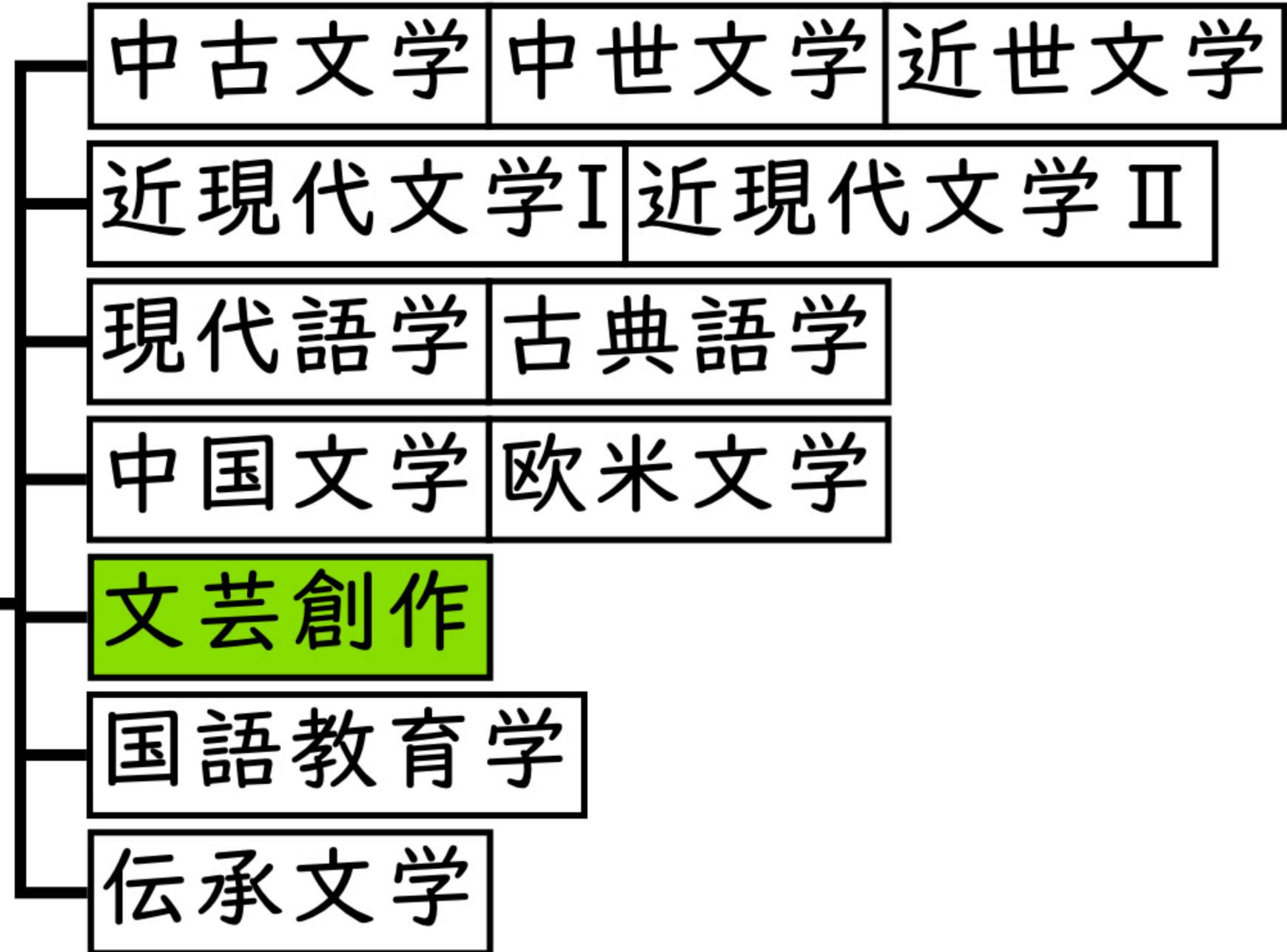
教養科目



専門科目



(専門演習・ゼミ)



日本文学学科の特色

(専門演習・ゼミ)

中古文学 | 中世文学

近現代文学I | 近現代文学II

現代語学 | 古典語学

中国文学 | 欧米文学

文芸創作

国語教育学

伝承文学

(関連する専門分野)

英語学(古典語)

英語教育

認知言語学

哲学・倫理学(予定)

(周辺領域)

日本史 | 情報処理

美学・美術史 | ほか

研究
サポート

関連科目

文芸創作について

一年次
文芸創作入門

二年次
文芸創作専門演習

三年次
文芸創作特別演習

四年次
文芸創作ゼミ：定員10名
(卒業制作)

取り組むジャンルは多種多様
小説/戯曲/詩/エッセイなど
エンターテインメントから純文学まで

希望者多数の場合は選考
(三年次までの取り組みを総合的に評価)

三年次は創作以外の研究ゼミ所属で研究発表
・ゼミ選択時に卒業制作の意思表示
・二、三年次に創作以外の専門演習履修

卒業後の進路について

教員

中学校・高等学校
公立・私立

学芸員

公立・私立

司書

一般企業（業種問わず）

出版編集

営業職

事務職

SE ほか

自営業

公務員

地方公務員
国家公務員

教員や学芸員、編集者など、「文学科出身者」から連想されがちな職業を選ぶ人もあれば、SEのような従来の「文学科」イメージとは違う職に就く人もいます。起業にチャレンジした卒業生もいました。

学校推薦型選抜について（100点満点 募集人員15人）

出願資格

(1) 2025年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者
(2024年4月以降に卒業した者を含む。)

(2) 調査書の「全体の学習成績の状況」が **3.6** 以上の者

(3) 校長が責任をもって推薦する者

(4) 合格した場合は、本学に入学することを確約する者

* 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

* 令和7年度大学入学共通テストの受験は必要ありません。

学校推薦型選抜について（100点満点 募集人員15人）

試験科目	小論文	口頭試問	学修調書（学びの履歴と計画）（注1）	調査書（注2）
配点	50		40	10
<p>（注1）「学修調書（学びの履歴と計画）」を出願時に提出してください。記載内容に基づいて「口頭試問」を行います。「学修調書（学びの履歴と計画）」と「口頭試問」の結果を総合して評価します。</p> <p>（注2）調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「国語」における学習成績の状況について点数化します。</p>				

2024年11月24日（日）	検査等の内容	
10:30-12:00	小論文	本学科で学ぶにあたって必要な読解力、論理的思考力、ならびに文章表現力などを総合して評価します。
13:00-	口頭試問	出願時に提出した「学修調書（学びの履歴と計画）」に基づき、志望の理由や専門分野に対する興味・関心のありかたとその理解度、および学習意欲の程度などを総合して評価します。

一般選抜（前期・後期）について

720点満点 募集人員：前期30人／後期5人

大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名			配点
国語	『国語』	を1	200
地理歴史・公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探求』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	から1	100
理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		
数学	『数学I, 数学A』、『数学I』、『数学II, 数学B, 数学C』		
情報	『情報I』		
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	200
[3教科3科目]			計 500

一般選抜（前期・後期）について

720点満点 募集人員：前期30人／後期5人

個別学力検査（前期2月25日・後期3月12日）の教科・科目名等		配点
国語	『現代の国語』、 『言語文化』、 『論理国語』、 『文学国語』、 『古典探究』	200
調査書 （調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「国語」における学習成績の状況について点数化します。）		10
高等学校入学以降の主体的な取り組み （申請書（任意提出）への加点（10点）です。申請書提出がなければ当初配点のみで合否判定を行います。）		10
計		220

日本文学科を志望される方には、大学公式サイトなどで公開されている「日本文学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を熟読するようご指導ください。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・「国語」において読む、書く、聞く、話す能力を養い、自分の考えを的確に表現できる文章力やコミュニケーション力を身につけてください。
- ・古典の学習を充分に行い、古典に関する基本的な知識や教養を身につけてください。
- ・文学作品、新聞、言葉や文化について書かれた書物を読んで、思考を深めたり広げたりして、多様な価値観を尊重する態度を養ってください。
- ・周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等での外国語の学習にも意識的に取り組んでください。
- ・その他の教科・科目においても、広い知識を身につけようとする積極性と、常に問題意識を持ち、解決しようとする態度を養ってください。

尾道市立大学と 進路指導担当者との懇談会

芸術文化学部 日本文学科 3年 箱田彩夏

発表内容

本学を選んだ理由

入学前後の私

本学科の特徴



自己紹介

学部 尾道市立大学 日本文学科
3年

出身 広島県福山市

母校 福山誠之館高等学校

研究
分野 文芸創作・欧米文学

～入学前の私～
本学を志望した
理由

高校時代に通っていた進学塾の

◇塾長に勧められたから

一体どんなことを言われたのか

◇私に合っている

◇「尾道」という場所が良い

◇創作の授業がある

入学後の私

- ◇ 日本文学を上代から近現代まで演習などを通して深く学び、概観する。
- ◇ 創作の授業では、課題で書いた創作作品を学生同士でフィードバックをもらい、実践につなげる。
- ◇ 演劇部では、脚本家・役者として活動
- ◇ 飲食店バイトで、接客の一環でお客様とのコミュニケーションを積極的に行う。



～入学後の私～ 学生生活編

	月	火	水	木	金
1		欧米文学講義	健康スポーツ実習		
2			日本国憲法	日本文化史	フランス語
3	日本文学講読6	TOEIC2			
4	メディア グラフィックス概論	文芸創作入門2			日本語学講義I
5			日本文学講読2	文芸創作 専門演習b	
放課後	バイト				バイト

本学における発見

◇ 義務教育以上に文学を学べる

● 万葉集

● 紫式部日記

◇ 興味がそそられる人ばかり

● 文学が本当に大好きな教授

● 弾丸で西行法師の史跡へ行く学生

これからの私について……

◇ 社会人になっても**文学**と関わっていききたい

◇ 観劇・アニメ鑑賞・読書などでも関われるのでは？

→ 鑑賞する側よりも**制作する側**として

演劇部の活動を通して、自分たちで演劇を作り、作品を理解するということの面白さを知った。

最後に

本学は、学生も先生方も面白い人ばかりです。

この面白いは、funnyではなくinterestingの意味です。

学生の人数が少ないからこそ、密に関われるという特徴があるといえます。

